

令和3年度 第1回郡上市地域公共交通会議(会議要録)

○会議名称 令和3年度 第1回郡上市地域公共交通会議

○開催日時 令和3年6月23日(木) 午後2時30分～午後4時00分

○開催場所 郡上市役所 防災センター研修室

○協議事項

議題第1号 郡上市地域公共交通網形成計画事業の実施について

議題第2号 令和4年度生活交通確保維持改善計画の策定について

議題第3号 郡上市地域公共交通計画(仮称)の策定に向けて

○報告事項

報告第1号 自主運行バス「明宝小川線」の運行について

○出席委員 日置敏明市長、尾藤安正、平岩憲政、田中秀昭、大西春子、田中康裕、三船淑郎、林克憲、古川浩二、鷺見菜月、福田泰典、三島一貴、廣中健太、伊藤一智、石田裕、交田晃基、松原由幸、伊豆原浩二、佐々木綱行、池田喜八郎、恩田邦生
吉田佳史(代理)、田原達也(代理) 計23名

○欠席委員 林直樹、佐野みゆき 2名

○出席者 (事務局：市長公室企画課)

室長 日置美晴、企画課長 入木田瑞樹、交通対策係長 河合真英、主任主査 河合厚志

1. 開 会 (司会進行：企画課長)

2. 委員委嘱状の交付

3. あいさつ 会長 日置市長

*議長(会長：市長) 議事進行

4. 副会長の選出について

要綱第5条第1項の規定により、副会長は委員のうちから会長が指名することとされている。副会長には、委員経験豊富な美並地域の古川浩二委員が指名された。

5. 郡上市の公共交通の現状について 事務局より概要説明、各交通事業者より状況報告

* 質疑応答なし

6. 郡上市地域公共交通網形成計画の令和2年度事業評価報告について… 資料1

* 質疑応答なし

7. 協議事項

議題第1号 郡上市地域公共交通網形成計画の実施について 事務局より説明 … 資料2

* 質疑応答

委員 公共交通をPRするケーブルテレビ情報番組をゼロ予算で制作する計画があるが、具体的にはどのような番組を制作するのか教えてほしい。

事務局 公共交通の利用方法を知らない方も多いため、料金体系や乗り方（フリー乗降）の他、利用促進につながる内容を検討している。また、バス乗降時の死角等に注意喚起もしていきたい。

委員 長良川鉄道がモバイルチケットのキャッシュレス化する計画があるが、キャッシュレス化は今後加速していくと思われるので情報収集をしたほうがよい。

議長 バス事業においては、キャッシュレスの導入状況について教えてほしい。

委員 民営バス路線については、ペイペイ、auペイ、クレジットカード等のキャッシュレス化をしている。

委員 下呂から郡上八幡までの無料連絡バスの実証実験について教えてほしい。

事務局 JR下呂駅前から郡上八幡の城下町プラザ着にて無料連絡バスを運行しており、今までは下呂発のみであったものが、令和3年度には郡上市発の便を新たに運行する実証実験になる。昨年度に予定していたが、コロナ禍の影響により運行できず、今年度に取り組むことになった。今年度においても、コロナ禍の状況をみて取り組むことになっている。

議長 当初の実証実験は、JR高山線で下呂に訪問された観光客を、郡上八幡まで足を運んでいただき、長良川鉄道を使ってお帰りいただく片道ルートの実証実験であった。今年度は、郡上八幡への観光客が、下呂市に向かうことになってしまうという課題はあるが、下呂市と郡上市を観光ルートとしてつなぐため、双方向で移動できるための実証実験となる。

委員 高校生の定期補助や通学に使いやすい時刻に調整していただいております、たいへんありがたい。大和地域の学校統合に向けたスクールバスの調整について計画があるが、大和地域以外にもス

クールバスと公共交通が重複している箇所があるので、効率のよい運行を検討してほしい。
また、中部縦貫自動車道が将来開通されるので、前もって検討をしてほしい。

事務局 スクールバスについては、今後の学校統合に向けてスクールバスを公共交通に転換できる可能性の検討について、令和5年度からの地域公共交通計画を策定に向けて、今年度と来年度の2年間にて、地域での懇談会や利用状況をふまえて全地域において検討していきたい。昨年度には、美並地域で公共交通の大規模な見直しを行ったが、その際にもスクールバスを公共交通に利用できないか検討をしたが、スクールバスに合わせた運行となると、通院や買い物に使われる一般の利用者にとっては、朝の出発が早くなり、スクールバスと公共交通を1本化できれば経費を抑えることができるが、利便性が悪くなってしまうため、美並地域の再編においては、スクールバスからの転換について検討はしたが導入には至らなかった。

中部縦貫道の開通については、白鳥地域振興事務所と大野市で、以前話し合いが行われていたが、路線を引くとすると、民間のバス路線となるため本当に利用があり、民間事業者が路線を引いてもらえるのかということ了新計画策定に含めて、観光課とも一緒に検討していきたい。

委員 中部縦貫については、2026年に開通予定としている。

議長 大野市と郡上市は交流があるため、よく検討してほしい。
議題第1号については、原案通り承認いただくということによろしいか。

全委員 異議なし

議題第2号 令和2年度生活交通確保維持改善計画の策定について 事務局より説明 … **資料3**
*質疑応答なく、原案通り承認された。

議題第3号 郡上市地域公共交通計画（仮称）の策定に向けた取り組みについて
事務局より説明 … **資料4**

運輸支局 平成30年度～令和4年度までの郡上市公共交通網形成計画が策定されており、引き続き実行していくため、令和5年度からの郡上市地域公共交通計画（仮称）を策定していくことになる。名称が変わるだけでなく、福祉輸送やスクールバス等あらゆる交通モードを活用して、地域住民の足を確保していく計画を策定することになる。それぞれの目標設定や評価方法についても、計画に盛り込んでいく必要がある。議案第2号の生活交通確保維持改善計画についても、新計画の中に含めることで、補助金を支払っていく仕組みになる。今回初めて新計画に向けての議題となるが、今後詳しく説明がされていくので、委員のみなさんにもご協力をお願いしたい。

委員 新計画の策定における国からの調査補助金については、市ではなく、この会議が調査費補助金を受け取ることになり、会議が執行していく仕組みが変わった。会議が重要な役割を持つことになるので、事務局もその点をしっかりおさえておいてほしい。

事務局 平成 22 年度策定の「郡上市地域公共交通総合連携計画」では、公共交通会議にて補助金を受け取っていたが、平成 30 年度策定の「郡上市地域公共交通網形成計画」では、市が補助金を受け取ることに変わり、今回再度変更して交通会議が補助金を受け取ることになった。このため、新計画については公共交通会議が策定していくことになり、郡上市は事務局としてしっかり担っていききたい。今後調査等を進めるにあたり、その説明や来年度は策定について審議もしていくため、会議の回数が増えることからご協力をお願いしたい。

議 長 新しい地域公共交通計画の策定は、郡上市地域公共交通会議が主体となる。
議題第 3 号については、原案通り承認いただくということによろしいか。

全委員 異議なし

8. 報告事項

報告第 1 号 自主運行バス「明宝小川線」の運行について 事務局より報告 … 資料 5

* 質疑応答なし

9. 情報交換

(1) 危険バス停、交通の現状について 岐阜運輸支局より説明

(2) その他

* 質疑応答

委 員 白鳥地域では、高速道路のバス停を設置してほしいという要望があり、濃飛バスも含めて検討していただきたい。

事務局 昨年度、岐阜バスには、高速バスの白鳥バス停の設置について、白鳥地域から要望があり市としてはお願いをしているが、コロナ禍の影響で全線の運行状況が厳しい状況であり、コロナ禍が落ち着いたら協議を再開したいということになった。今後観光課も含めて検討していきたい。

(3) 伊豆原アドバイザーより

コロナ禍においても公共交通を利用している方は、本当に公共交通が必要な方である。

新計画については、まったく新しいものを作るのではなく、現行の網形成計画の延長線上に新計画が策定されていくことになる。現行からどのように改善していくことが重要である。利用者の声としていろいろな提案をいただき議論をして、みんなで新計画を作してほしい。

10. 閉 会 副会長 古川委員